

1 主題構成表

主題名 ひとりひとりを たいせつに

資料名 「のこぎり山の 大ぶつ」

<p>■内容項目 C 公正、公平、社会正義</p> <p>自分の好き嫌いにとらわれないで、相手のよさを受け入れ、助け合ったり励まし合ったりして接すること。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <p>(意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好き嫌いで相手に対する態度を変えることはよくない、ということを理解している児童は多い。 一方で、仲のよい友達とそうでない友達で明らかに態度を変えたり、自分にとって利点があるかどうかで判断して相手に強く言ってしまうたりする姿も見られる。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの経験で、仲間外れの子がいたり、けんかをしたりしてしまうと自分も周りの子も嫌な気持ちになるということや、誰とでも仲良くするとよい気持ちになることが分かっている児童が多くいる。 自分本位で考えたり、場の雰囲気や周りの行動に流されたりして、悪いことと分かっているのに、つい態度に出してしまう弱さがある。 	<p>■資料の分析</p> <p>のこぎり山の 大ぶつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公のこうだいさんは、遠足で長い距離を歩くのが苦手なあかりさんと同じ班になり、自分の班が周りから遅れていくことに焦り、自分の気持ちを優先してあかりさんについて強く当たってしまう。一生懸命に歩くあかりさんと、あかりさんを心配して優しい言葉をかける周りの子を見て、「はっ」とし、あかりさんに対する言動を改めるとい資料である。 こうだいさんの言動の変化から、自分の気持ちだけを考えて行動するのではなく、みんなと仲良くするためにはどうすれば良いかを考えて行動することの大切さを考えることができる教材である。
<p>■ねらい</p> <p>歩くのが苦手な子に優しくしている班の子の様子から、誰に対しても公平・公正に接することの大切さに気づき、相手のよさを受け入れて助け合いながら仲良く生活しようとする心情を育てる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おそいよ。」と言ってしまったこうだいさんの気持ちを考え、自分の焦る思いを優先していることに気付くことができるようにする。 あかりさんに謝り優しく接している時のこうだいさんをどう思うか考えることで、こうだいさんの言動の変化が価値あることであると気付くことができるようにする。 仲良くするとどんなよいことがあるのか考えることにより、誰とでも仲良くすることのよさを感じとらせる。 教師の話聞いて、日常生活での自分たちの姿を振り返り、誰とでも仲良く生活しようとする気持ちを高める。 	<p>■判断力・心情</p> <ul style="list-style-type: none"> ○[中心発問]『はっとしたこうだいさんは、あかりさんに何と言いたいです。』という問いで、こうだいさんの気持ちが変化していることに気付くことができるようにする。 ○[学習形態] 役割演技を行い、あかりさんに優しくできたこうだいさんのよさを再認識できるようにする。 ○[表現活動] 生活の中で仲間と助け合っている姿を知り、今後どのように生活していきたいか考えることで、誰とでも仲良くしていこうとする意欲を高める。 	
<p>■道徳科と他の教育活動との関連</p> <p>生活科「のりもののにのっていこう」→ 道徳「のこぎり山の大ぶつ」→ 児童会行事「大縄大会」 自分の好き嫌いにとらわれず、助け合いながら誰とでも仲良く生活しようとする。</p>		

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇資料についての説明を聞き、本時の学習に見通しをもつ。 こうだいさん…長い距離を歩くのが苦手なあかりさんと同じ班になって、心配している。 あかりさん…顔を真っ赤にして一生懸命歩いている。 長い距離を歩くのが苦手。 大ぶつさん…みんなのことを、いつでも見守っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周りから遅れてしまうのではないかと心配する こうだいさんと、懸命に歩いているが速くは歩けないあかりさんについて、意識づけをする。 ・誰にでも得意や苦手があることを確かめ、みんなで仲良くする方法について考えることを確かめる。
展開前段	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">にが手なことがある子に、どうしたらよいか考えよう。</p> <p>◇教材「のこぎり山の大ぶつ」を読み、話し合う。 ○線を引いたところを発表しましょう。</p> <p>○あかりさんに「おそいよ。はやくあるいてよ。ほかのはんにぬかされちゃうよ。」と言ったこうだいさんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の班がどんどん先に行ってしまうと、もっと早く行きたいって思ったと思います。 ・あかりさんのせいでおくれってしまった、いやだと思っています。 ・もっと早く歩いてくれないと、他のはんからおくれしてしまうから、イライラしていると思います。 <p>◎「はっとした」こうだいさんは、あかりさんに何とお願いしたいでしょう。(役割演技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だいじょうぶ。さっきは強く言ってごめんね。 ・もうちょっとゆっくりあるくよ。 ・おそいよ、って言ってごめんね。 ・そんなにいそがなくていいよ。 ・ぼくは元気だから、リュックを持ってあげるよ。 <ul style="list-style-type: none"> ・さっきは自分のことしか考えてなかったけど、班の子が優しくしているのを見て、ぼくも優しくしなくちゃと思ったからです。 ・一生懸命歩いているあかりさんの気持ちを考えて、声をかけるといって気が付いたからです。 ・みんなで仲良く登った方が、気持ちがいいと思ったからです。 <p>○こうだいさんは、大ぶつさんに何て言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかりさんに「ごめんね。」って言えて、よかったな。 ・あかりさんの荷物をもって一緒に山に登れたから、みんな仲良くできたよ。 ・みんなでなかよく登れて、気持ちがいいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【まとめ】 あい手の立場になって、たすけ合う気持ちをもつことが大切。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いいな・分かるな」～「だめだな」の観点で教材に線を引きながら聞くよう促す。 ・あかりさんにきつく当たってしまうこうだいさんの気持ちを考えることで、焦って早く行きたいがためにあかりさんに強く接してしまうこうだいさんの勝手さに気が付くことができるようにする。 ・「あかりさんが長い距離を歩くのが苦手、と分かっていたのに、なぜ言ってしまったのでしょうか。」と問うことで、こうだいさんの自分勝手さが勝ってしまったことに共感できるようにする。 ・班の子の発言を提示し、こうだいさんが「はっ」としたきっかけに気付けるようにする。 ・「はっとした」とはどのような状況か、確かめることで、役割演技に入りやすくする。 ・あかりさんに優しい言葉をかける班のみんなを見て、自分の気持ちを優先していたことに気付いたこうだいさんが、あかりさんにどのように語りかけているかを役割演技させることで、こうだいさんがあかりさんのことを考えて行動するようになっているという変化に気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【深めの発問】 ★こうだいさんは、さっきまであかりさんに「早く歩いてよ。」と強く言っていましたよね。「ごめんね。」「いそがなくていいよ。」と言えたのは、どうしてでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あかりさんに「ありがとう」と言われたのち、こうだいさんは大ぶつさんに何と言いたいかを問うことで、本時の価値について考えられるようにする。 ・はじめに強く言った後で謝ることができたこうだいさんを受け入れ、「こうだいさんのおかげだよ。」とすることができたあかりさんも、相手の良さを受け入れて仲良くしようとしていることを確かめる。
展開後段	<p>◇自分たちの普段の生活を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すれ違う時に肩がぶつかった場面を提示し、ペアでどうすればよいかを考えられるようにする。
終末	<p>◇教師から、自分の好き嫌いとらわれず、誰とでも仲良く生活している姿について聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大縄の練習で、跳ぶのが苦手な子に「ドンマイ。」と声をかけたり、優しく背中を押したりする姿を紹介する。 <p><変容の見届け> 自分の好き嫌いとらわれず、誰とでも仲良く生活していこうとする心情が育ったか。</p>